

第9回 C I S P R J 電波雑音委員会 議事要録

1. 開催日時:2022年5月26日(木) 10:30~11:15
2. 開催場所:(一財) V C C I 協会 5階 A会議室/オンライン会議
3. 出席者:(順不同、敬称略) 委員21名(委員長への議決委任2名を含む)
参加11名、事務局2名
会議中は、終始、双方向の意思伝達に問題はなかった。

<委員>

徳田委員長<東京大学大学院>	山下副委員長<一般財団法人 電気安全環境研究所>(Web)
上田委員<一般社団法人 インターホン工業会>(Web)	松山委員<一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター>(Web)
笠井委員<超音波工業会/高周波機械工業会>(Web)	三塚委員<一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター>(Web)
安江委員<電気事業連合会>(Web)	中森委員<一般社団法人 電子情報技術産業協会>(Web)
加藤委員<一般財団法人 電波技術協会>(Web)	浅見委員<一般社団法人 日本アミューズメント産業協会>(委任状)
今泉委員<一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会>(Web)	高岡委員<一般社団法人 日本照明工業会>(Web)
前川委員<一般社団法人 日本電機工業会>(Web)	阿部委員<一般社団法人 日本配線システム工業会>(Web)
井熊委員<一般財団法人 日本品質保証機構>(Web)	山崎委員<日本放送協会>(委任状)
土屋委員<一般社団法人 日本陸用内燃機関協会>	福田委員<一般財団法人 日本冷凍空調工業会>(Web)
川脇委員<一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会>(Web)	山下委員<株式会社 U L J a p a n>(Web)
堀 委員<一般財団法人 V C C I 協会>(Web)	

<欠席> 欠席委員1名

大浦委員<一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会>

<参加>

神沢 <経済産業省 製品安全課>(Web)	馬場 <経済産業省 製品安全課>(Web)
伊藤 <総務省 電波部電波環境課>(Web)	渡邊 <総務省 電波部電波環境課>(Web)
北島 <独立行政法人 製品評価技術基盤機構>(Web)	池野 (代理:田辺) <一般社団法人 日本電機工業会>(Web)
小林 <一般社団法人 日本電気協会>(Web)	
小田 <一般財団法人 V C C I 協会>	平田 <一般財団法人 V C C I 協会>(Web)
長部 <一般財団法人 V C C I 協会>(Web)	島先 <一般財団法人 V C C I 協会>(Web)

<事務局>

星野 <一般財団法人 V C C I 協会>	村松(記) <一般財団法人 V C C I 協会>
------------------------	---------------------------

4. 配布資料:

- 資料 1-0 第9回 C I S P R J 電波雑音委員会 議事次第
- 資料 1-1 C I S P R J 電波雑音委員会 委員名簿
- 資料 1-2 令和3(2021)年度 C I S P R J 電波雑音委員会 事業報告(案)
- 資料 1-3 令和4(2022)年度 C I S P R J 電波雑音委員会 事業計画(案)
- 参考資料 1 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正について
- 参考資料 2 解釈別表第十二に関わる C I S P R 規格の発行・国内答申審議状況
- 参考資料 3 C I S P R J 電波雑音委員会 ウェブサイト訪問件数 月別推移

5. 議事概要:

5-0 : 開会

- ・徳田委員長ご挨拶の後、委員長が議長となり、審議に入った。

5-1 : 定足数の確認

- ・第9回 C I S P R J 電波雑音委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会議室への参加とオンライン会議を併用した審議にて開催することとした。
- ・本日の出席委員数について事務局より報告があった。出席委員数については、総数 22 名に対し、委員長を含む 2 名が VCCI 協会への来協、オンラインでの出席 17 名、委員長への委任状提出 2 名を含む 21 名となっている。以上により、規約第 9 条にある全委員数の 2 / 3 (16 名) 以上の出席を充足しており、本委員会は成立していることが確認され、議事を進めた。
- ・出席されている参加者について、紹介がされた。

5-2 : 議事次第及び配布資料の確認

- ・事務局より、議事次第及び配布資料について、3 件の審議事項と 2 件の報告事項について確認がされた。

5-3 : 審議事項 1

第一号議案 C I S P R J 電波雑音委員会 規約第 5 条 (委員会の構成) にある委員長、副委員長の互選について

- ・委員長、副委員長の互選について、立候補のご意向、推薦等ご意見を伺ったがなかった。
- ・事務局より、委員長として徳田委員、副委員長として山下委員に継続してご就任頂くことを推挙し、審議の結果、委員全員の賛成により、委員長、副委員長の就任が承認された。

5-4 : 報告事項 1

C I S P R J 電波雑音委員会委員交代について

- ・事務局より、資料 1-1 に基づき C I S P R J 電波雑音委員会の委員交代について、一般財団法人 日本品質保証機構の梶原様から井熊様へ、日本放送協会の橋本様から山崎様へ、一般社団法人 日本冷凍空調工業会の渡辺様から福田様への交代と地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターからは令和 4 年度からの参加なしについて報告があり、承認された。
- ・その後、交代された委員の方、経済産業省神沢課長補佐と総務省伊藤電波監視官よりご挨拶頂いた。

第 8 回 C I S P R J 電波雑音委員会委員議事要録について

- ・事務局より、第 8 回 C I S P R J 電波雑音委員会議事要録については、2021 年 6 月 1 日にご案内した結果、ご意見はなかった。委員長のご了解をいただき後、C I S P R J 電波雑音委員会のホームページに掲載していることを報告。

5-5 : 審議事項 2

第二号議案 令和 3 (2021) 年度 C I S P R J 電波雑音委員会 事業報告 (案) について

- ・事務局より、資料 1-2 に基づき説明があり、承認された。

ア. 令和 3 (2021) 年度に開催した委員会における主な報告・審議内容

令和 3 (2021) 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5 月 20 日 (木) に、オンライン会議を主体とし、一部の方が会議室への参加にて 1 回開催した

イ. 総務省情報通信審議会答申について

“技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表 2 雑音の強さに関する基準” に関わる総務省情報通信審議会答申については、新たな答申はなく、当委員会で整合規格案の審議はさ

れなかった。

ウ. 整合規格への採用について

既に整合規格に採用されている CISPRJ 15 及び CISPRJ 32 は、本年度の改正はなかった。

また、本年度は、新たな CISPRJ 規格の作成がなく、新たな整合規格への採用はなかった。

エ. 委員会への団体の入退会について

本年度は、団体の入退会はなかった。

- ・資料 1-2 に対する意見などはなかった。

第三号議案 令和 4 (2022) 年度 C I S P R J 電波雑音委員会 事業計画 (案) について

- ・事務局より、資料 1-3 に基づき説明があり、承認された。

ア. 委員会の活動として、C I S P R J 電波雑音委員会は、年 1 回の開催を予定。

イ. 令和 4 (2022) 年度は、“技術基準の解釈別表第十二 国際規格に準拠した基準の表 2 雑音の強さに関する基準”に関わる総務省情報通信審議会答申については、現時点では新たな答申の計画がなく、総務省情報通信審議会の審議状況を注視していく。

- ・資料 1-3 に対する意見などはなかった。

5-6: 報告事項 2

電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正について

- ・事務局より、参考資料 1 に基づき、以下の説明がされた。

ア. 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正について」令和 3 年 1 2 月 2 8 日に通達されたもの。参考資料とした理由は、「別表第十 雑音の強さ」において、エル・イー・ディー・ランプについて J55015 が採用されたことによる。これは、電気用品安全法の技術基準の解釈「別表第十 雑音の強さ」において、LED ランプの雑音の許容値を定めた基準として、別表第十二で採用の J55015 (対応国際規格: CISPR 15) に置き換える改正である。J55015 は、整合規格として CISPRJ 15:2017 を採用しており、C I S P R J 電波雑音委員会に関係する内容のため掲載した。

- ・本資料説明の後、経済産業省 神沢課長補佐より、電気用品全体の議論への感謝と電気用品の改正への協力依頼がなされた。

5-7: 報告事項 3

解釈別表第十二に関わる CISPR 規格の発行・国内答申審議状況について

- ・事務局より、参考資料 2 に基づき、以下の説明がされた。

ア. 解釈別表第十二に関わる C I S P R 規格の発行・国内答申審議状況として、令和 4 (2022) 年度の答申審議の会議体設立は、現在のところ予定はない。

- ・本資料説明の後、総務省 伊藤電波監視官より、当面、C I S P R J 電波雑音委員会に関係する答申の予定はないとのコメントがなされた。

5-8: 報告事項 4

平成 29 (2017) 年度から令和 3 (2021) 年度の C I S P R J 電波雑音委員会のウェブサイト訪問件数月別推移について

- ・事務局より、参考資料 3 に基づき、以下の説明がされた。

ア. 令和 3 (2021) 年度の当委員会ウェブサイト訪問件数は、月平均 1,170 件/月であった。これは、令和 2 (2020) 年度対比で微増であった。C I S P R J 規格について、年間を通して定期的に閲覧されている。

5-9: その他

- ・山下副委員長より、電気用品調査委員会の電波雑音部会では、照明器具のみならず全ての電気用品についても 2023 年度末をめどに別表十から別表十二に移行する方向で審議している。そのため、今後C I S P R J 規格への移行への審議がされていくものとする。

5-10:閉会

以上で、第9回 C I S P R J 電波雑音委員会を終了した。

－以 上－